



120g

300g

遠赤β-クリプトキサンチン

機能性関与成分
β-クリプトキサンチン3mg

※本品を1日30g摂取した場合、届出表示の規格となった関与成分量(β-クリプトキサンチン3mg)が摂取できます。

遠赤β-クリプトキサンチンの特徴

- 1 機能性表示食品です。
- 2 愛媛県産温州みかんを100%使用した微粉末タイプです。
- 3 低温乾燥で素材の風味や色調を損ないません。
- 4 薬剤・添加物等無添加です。

近年、温州みかんに多く含まれる「β-クリプトキサンチン」の効果が注目されています。テレビの健康番組でも取り上げられることが多くなりましたので、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。

●機能性表示食品とは
「脂肪の吸収をおだやかにする」「おなかの調子を整える」等、健康の維持や増進などに役立つ効果を「機能性」と言います。事業者の責任において、販売前に科学的根拠に基づいた安全性及び機能性の根拠に関する情報などが消費者庁へ届けられています。

昨年末に、みかんの色素である「β-クリプトキサンチン」について、機能性表示食品の申請が受理されました。

お客様が求める安心・安全を目指して
機能性表示食品への挑戦は続きます。

第40号

有機健康 つうしん

遠赤青汁通信 (H30.4.1発行)

皆様のお声を聞いて、良い商品をお届けしたいと考えています。



遠赤青汁株式会社

〒791-0398 愛媛県東温市則之内甲2225-1
TEL フリーダイヤル 0120-148-162
ホームページ http://www.enseki.com

みきゃんも
応援するよ!



愛媛県イメージアップキャラクター
みきゃん 許諾番号2903036

お客様が健康食品に求めているらしやるとの多くは「効果・効能」です。百貨店で販売していると「青汁は何に良いの?どんな病気が治るの?」と言うようなご質問をいただきます。「機能性表示食品」制度が始まり、これでお客様に青汁の良さが詳しくお伝え出来ると思いました。

いち早く一昨年より弊社が取り組みを進めた「機能性表示食品」は、関与成分の機能性について堂々とお伝えすることが出来ます。

例えばケールでは「GABAの高めの血圧を下げる」機能に注目し、根拠となる研究レビューを集め、第三者の論文による評価を集めて申請し、受理されています。研究機関、学者の権威ある論文がその機能を伝えています。

β-クリプトキサンチンは、温州みかんの実や皮に豊富に含まれる天然のカロテノイドで、摂取することで、新しい骨を作る骨芽細胞のはたらきが促進されます。同時に、骨を壊す破骨細胞のはたらきを抑制することで、骨代謝のバランスを改善する機能があることが考えられます。

お客様の健康へのお悩みは多岐に渡り、それらすべてに「機能性表示食品」が該当することはありません。しかしながら、機能性に関する情報を掘り下げることで、新たなお悩みの解決につながることは可能だと考えています。今後も、様々な研究レビューを集めながら、お客様に最新の情報と共に伝える出来る体制づくりに努めてまいります。

(代表取締役 高岡照海)

陽光桜 平和への想いを届けます。

●寄贈した陽光桜は既に一万本

亡き父の代より、戦時中の激戦地に鎮魂の想いと共に送り続けてきた陽光の苗木。二〇〇六年にダナン市に寄贈した五百本からスタートし、二〇〇七年からはハノイ市へと贈り続けて、その総数も一万本を越えました。



記念植樹に臨む高岡と妻令恵(照海、ひとり置いて令恵)

昨年十二月十一日に、ベトナムのイエンバイ省イエロー市に陽光桜が植樹されました。

今回の植樹は、日本の道徳会館の皆様にご尽力いただきました。二〇一四年にも、ハノイに一一〇〇本の陽光を贈らせていただきました。イエロー市からハノイ市に続く道路の両脇に桜を植えて、将来の「さくらロード」を計画されています。

一〇〇〇本を超える苗木をベトナムへ送る作業も大変です。検疫など細かい書類の手続きをご準備いただき、無事に届けことが出来ました。

植樹にはイエロー市の方々にも参加していただき、盛大に式典を行っていただきました。式典では、高岡の功績が称えられ叙勲式も行われました。「亡父の平和への想い、陽光が今後両国の交流をつなぐものになれば幸いです。」と高岡。今後も、協力を誓いました。



叙勲に対し、お礼のスピーチを述べる高岡。今回の訪問には、以前弊社農場で研修していたズンさん(右手から三人目の女性)が通訳を務めてくれました。自国に戻り立派に、日本とベトナムをつなぐ仕事を頑張ってくれていて、高岡も感激したそうです。日本での学びをこれからも生かしていただきたいと願います。



ベトナム友好諸組織連合会主催会常務副会長 DON TUAN PHONG 氏より勲章が贈られました。賞状には「国民間の平和と交友のため」と書かれています。

農地再生に

挑む

西条市丹原町の農場に、子供たちの声が響き渡りました。今日は、農場近くの保育園と幼稚園の子供たちが参加して、ジャガイモの植付体験を行いました。

弊社が、この地で農業を始めてもう二十年が来ようとしています。地域の皆様にも、ご協力をいただき有機栽培やソーラーシェアリング等、耕作放棄地を開拓しながら、農業復興を応援しています。

今回、地域の子供たちとのジャガイモ栽培が始まりました。まずは、種イモを植えるところから体験してもらいます。ジャガイモは春と秋に植えます。植える前には、種イモを少し温かいところに置き、芽を出させておくことで成長も早くなります。また、種イモは直前に半分から四分の一に切ったものを使い、それらに灰

「農地再生に挑む」では、放置された農場を再生し、有機圃場として生まれ変わる様子をシリーズとしてお伝えしています。

をまぶします。これには、植え付け後の腐敗を防ぐ効果があります。秋に植える時は、腐敗しやすいので切らずに小さい芋を丸のまま植え付けます。

小さな子の手のひらいたいばいになりそうな種イモ。植えるための穴は既にあってあります。大体、三十センチ間隔で深さは約十センチくらい。平らになった切断面を下にして植えるんですよと教えます。

ただし、四歳くらいの子供ですから、細かいことは難しいですね。ぽんぽんと放って投げ入れる子供もいます。それでも穴に入らないと、ちゃんと拾って入れなおしてくれました。また、ひとつひとつ丁寧に寝かしつける様においていく女の子もいます。「早く大きくなってね」とかわいく声をかけて寝かしつけているようでした。

ジャガイモの種は、半分だったり四分の一に切っています。どうやらこの子はその半分が膨らんで、丸いジャガイモに



「今日は、ジャガイモを植えるのを手伝いに来ました。よろしくお願いします。」子供たちの元気な声に、いつも現場では厳しい表情の木下も笑顔が止まりません。



子供たちのバケツに種イモを入れるモンさん。子供たち以上にテンションが上ってました(笑)



小さなバケツに種イモを入れて、やわらかい畑の土の上を少しずつ歩いていきます。先生がずーっと奥まで進んでいくのを一生懸命おいかけていきます。



今日はありがとうございました。ジャガイモを植えた後は、トラクターに乗せてもらっての大撮影会でした。子供たちの背丈もあるタイヤにビックリ。楽しかったのはトラクターの方かも？ジャガイモ植えたの覚えてる？と思うくらい大はしゃぎでした。

収穫は六月を予定しています。今から子供たちの笑顔が楽しみです。

「この子らはジャガイモの形は知っています。でも、どうやって育つかは知らないんだ」。私達も発見でした。「ようし、収穫の時には全部掘り起こして拾ってもらおうと思っていたけど、畝を一行残して土を半分取り、葉っぱからずすと芋が連なっているのを見てもらおう」。作業を見守っていた社員も、見せ方のアイデアが出てきたようです。いいですね。子供たちの視線が、自分たちの仕事をどう見せるかにつながる、良い機会をいただきました。

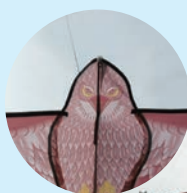


最後に、芋の向きを直しながら土をかぶせていくモンさんとクエさん。幼稚園児を見て、かわいいを連発。嬉しそうでした。

ワシが見守つとる！

農場に、新しい守り神が登場しました。

ケールは、葉を食べたり根元をかじる害虫からの被害も多いのですが、近年は近くの耕作放棄地が藪のようになり、そこから飛んでくる野鳥から被害を受けています。



タカ君は結構男前。キリっとにらみを利かせています。



タカを模した風が釣り竿で引っ掛けたようにふんわりと漂っています。低空飛行なのは、ケールに近づくのを防ぐためです。がんばれ！タカ君♪

野鳥は、葉を少しずつ突いて食べます。ツンツンと、小さい穴がところどころ開いており、その穴から葉の色が変わってしまい、せっかく育っても使えなくなるのです。

西条市丹原町はもともと扇状地の地形を生かし、あたご柿に代表される果樹栽培が盛んでした。しかしながら、高齢化に伴い、木に梯子をかけて収穫する危険や上を向いてばかりの作業に耐えられず、果樹栽培を続けられない農家も増え、耕作放棄地が増え続けています。

弊社は、こうした耕作放棄地を農地へ転換する「地域再生事業」を続けてきましたが、ここにきてまた野鳥被害への対策に頭を悩ませています。



1回目の収穫を終えたケールの農場。遠くに見える藪の中から野鳥が大群で押し寄せてきます。

一時期調子の良かったのはケールの上に紐を引っ張る方法でしたが、鳥は結構頭がよく、すぐに慣れてしまします。今はこのワシが効果をあげていますが、いつまでもつものか(笑)

安全で美味しい、品質の良いケールを、ぜひ皆様にお届けしたいと思い、ワシ君と共に頑張ります。

***** 第2回桜祭りミャンマー2018が開催されました！



記念植樹を行う高岡夫妻



ミャンマー観光大使他関係者の皆様と記念撮影



ASEAN会議も行われた国際会議場で式典は挙行されました。



今回初めて選ばれた桜の女王と



こおり健太さんは昨年ミャンマー親善大使に任命されました。



トラックに載せる前に、陽光桜をバックに記念撮影。横たわっていても、その大きさが分かります。泉ヶ丘桜会・泉佐野市役所の皆様には、寒い中もずっと作業を見守っていただきました。ありがとうございました。



2月23日に植樹が終わりました。良い天気ですね。ここで育ち、春の日をあびて陽光が青い空に映え、花を咲かせる日が楽しみです。ぜひ、お近くの方は見にいらしてください。

●第2回桜祭りミャンマー開催

2018年1月14日、ミャンマーの首都ネピドーで、第2回目「さくら祭りミャンマー2018」が開催されました。

ミャンマーのホテル観光省が主催し、ミャンマー連邦議会の上院下院議長をはじめ多くの閣僚も参加。日本からは日本・ミャンマー友好議員連盟の他、さくら振興議員連盟の皆様が参加されました。安倍晋三内閣総理大臣からアウン・サン・スーチー国家最高顧問への祝辞が披露されるなど、盛大に行われました。

このイベントでは、日本とミャンマーの文化交流も大きな目標です。ミャンマー観光親善大使のこおり健太さんを中心に、両国の触れ合いが進みました。ミャンマーの伝統芸能の披露の他、日本からは書道パフォーマンスや歌が届けられ大いに盛り上がりしました。

2020年までに陽光の苗木1,000本が植樹される予定です。



現地の新聞にも掲載されました。

泉佐野市の新しいシンボルに！ 陽光桜を寄贈いたしました！

●陽光の苗木を泉佐野市へ贈呈

2018年3月25日に開園する大阪府泉佐野市南部公園に植樹するため、泉ヶ丘桜会の皆様にわざわざ陸路、東温市まで陽光桜を迎えに来ていただきました。

陽光のご縁により、昨年7月には泉佐野市と東温市は特産品相互取扱協定を締結し、交流を進めています。

泉ヶ丘桜会とは平成28年11月にJR東佐野駅ロータリーに陽光桜を植樹していただいたご縁です。その際にも、自ら2トンもある「陽光桜」を運び、植樹してくださいました。

今回の桜は更に大きく立派なものです。30年は過ぎていると思います。長さを測ってみたのですが、根から枝先まで8メートル近くにもなりました。さすがに今回は専門の業者に依頼して運んでいただきました。長さも重さもある陽光に、ロープを巻く位置やバランスに苦心されながら、載せていきます。「もうちょっと右じゃないか？」「ここにロープ掛けた方がいい」といつい泉ヶ丘桜会の方々も、心配して声をかけます。「せっかくの桜を痛めたらいけませんし、大事に載せない」とありがたいお言葉です。慎重に進めるあまり、積み込みが終わったのは1時間後でした。

植樹後には、写真と手紙を送っていただきました。大きなグラウンドの横に、想像以上に立派な陽光が植えられています。公園の敷地内なので、春に花が咲くときと大勢の市民の皆様にもご覧になっていただけることでしょう。ありがとうございました。



今回、陽光桜を寄贈させていただくにあたり、泉佐野市役所の方から、感謝状をいただきました。



陽光の根元にロープをかけて慎重に載せていきます。枝先を縛ってはいらないものの左右に傾くため、荷台の幅を越えない様に向きを変えたりしながら調整します。



ようやく載りました。カバーをかけて、いざ泉佐野市に出発です。意外に高さも長さもありますが、高速道路で持ち帰るそうです。バックは…危ないですね。前へ前へ進みましょう。

有機遠赤ケール パッケージは二刀流に！

子供に
飲ませる
つもりだから、
血压は
ちょっと…



このたび、機能性表示食品として申請が受理され、有機遠赤ケールのパッケージにも「機能性表示食品」「血压が高めの方に」と表示させていただき、リニューアルを進めておりましたが、多くのお声をいただき、改めて「赤ちゃん写真」の有機JAS認定青汁のパッケージも継続して販売することにいたしました。

■赤ちゃん写真のパッケージ

お客様の多くは、従来の「赤ちゃんが青汁を飲んでいる姿」に共感を得ていたっており、今回のリニューアル時にも写真を残したかったのですが、機能性表示食品が未成年者や妊産婦、授乳婦を対象にした商品でないため、「ご家族で飲める」イメージに変更いたしました。

リニューアルを進めながらも、やはり多くの方々から「赤ちゃんの青汁は？」とのお声を聞きました。戸惑われた方も多かったようです。申し訳ございません。

■これからも安心を伝える青汁で

有機遠赤ケールは20年に渡り、お客様に親しまれてまいりました。パッケージへの愛着も強く持っていたいただいていたことに、社長も皆で感動しています。今後とも、「有機遠赤ケール」をよろしくお願いいたします。

※ホームページからのご購入は「機能性表示食品」と従来商品（赤ちゃんパッケージ）のものとで区別して販売させていただきます。



赤ちゃんが青汁を飲んでいる姿が印象的な従来からのパッケージ



機能性表示食品パッケージは、「血压が高めの方に！」と言う表示が特徴的。



有機遠赤ケール
100g
¥2,920(税別)
2g×30包
¥2,500(税別)

四国八十八箇所 二十八番札所

法界山 大日寺

(ほうかいざん だいにちじ)

高知県香美郡野市町母代寺476



天平年間、聖武天皇の勅願によって行基が創建。後に弘法大師によって伽藍の整備が進んだとされています。大師はこの寺にあった楠の大木に、爪で薬師如来を彫ったとの伝承が残されており、現在その場所には奥の院が建立されています。奥の院へは境内から納経所の前を通り抜け、そのまま藪のなかへ入っていくとすぐたどりつきます。ちょっと歩きますが、途中にある「大師の加持水」がのどを潤してくれます。これは高知県の名水40選に選ばれています。そしてここに祀られているのが手彫りの薬師如来像。材質が堅いことで知られるクスノキを爪で彫ったという伝承が残されています。

奥の院には穴の開いた石がたくさん奉納されています。願いがかなった人が、自然に穴の開いた石を奉納するきまりになっているのだそうです。



おたより広場 にメッセージをお寄せください!!

〒791-0311 愛媛県東温市則之内甲2225番地1
遠赤青汁株式会社

※お寄せいただいたお便り等は、その他の目的で使用することはありません。

有機健康つうしんおたより広場 係あて mail:aojiru@enseki.com

